

科目ナンバー	PSY-2-016-j			科目名	教育相談論(初等)		
教員名	松本 学			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	教育相談とは、教育相談は、児童生徒および幼児の教育上の問題について、本人・親・教師等に対して適切な援助をすることです。今、学校は学級崩壊・いじめ・不登校など多くの深刻な問題に直面しています。そのような状況の中、教師は子どもや保護者に対しての向き合い方を常に問われることとなります。この授業では、教師が日常の学校生活で直面しうる様々な問題について、適切に理解・対処する力を養うことを目的として、カウンセリングの基本的手法・発達心理学の知識・教育相談の枠組みについて、実際に頭と体を動かしながら実践的に学ぶことを目指しています。						
到達目標	学生の皆さんは、この授業を通じて、学校で生じる様々な出来事を理解し、対処するための基本的な枠組みとなる知識を獲得するとともに、現場で生じるあらゆる出来事への実践的な力を養う手掛かりとして欲しいと思います。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		○	伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度		自己を抑制する力		○	協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性			関係を構築する力	○	実践的スキル
							○
教授法及び課題のフィードバック方法	この授業では、座学だけではなく、グループ活動などの作業があります。これはこの授業の目的が学校現場での実践の力を付けるということと大きく関わっています。そのため、将来教師になるという強い自覚を持ちながら、積極的に参加することを求めます。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修	○	
受講条件 前提科目	初等免許取得者向けの教職科目です。中等免許取得者向けは別にありますので、注意してください。また、一般の卒業単位とはなりません。履修の際は注意してください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点、小レポートと最終レポートにて評価を行います。						
教材	教材は特に指定しません。必要がある場合は、こちらで用意して配布します。						
参考図書	池島徳大他編『学校カウンセリングの理論と実践』ナカニシヤ出版 石隈利紀『学校心理学』誠信書房 二宮克美他『ガイドライン発達学習・教育相談・生徒指導』ナカニシヤ出版						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業授業の概要とスケジュール、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。その上で、授業運営、評価等について説明を行う。						
授業外学修内容	シラバス授業で授業について必要な情報を収集したうえで履修手続きをしてほしい。履修に当たっては、教育相談論とはどのような学問か把握するために図書館などで概説書に目を通しておくこと。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	学校における教育相談学校における教育相談について、その対象や活動内容、他の類似の活動との違いなどについて、事例を挙げながら解説する。						
授業外学修内容	図書館やインターネットを通じて、教育相談とはなにか調べておくこと。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	学校における教育相談2学校における教育相談が、我が国においてどのような形で発展してきたのか、カウンセリング導入の歴史を踏まえながら紹介する。そのうえで、学校教員が通常の教育活動においておこなう教育相談について概説する。						
授業外学修内容	図書館やインターネットを通じて、我が国におけるカウンセリング導入の歴史についてあらかじめ調べておくこと。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	カウンセリング技法①学校現場で用いることができる基本的なカウンセリング技法について、ロールプレイを行いながら紹介する。						
授業外学修内	基本的なカウンセリング技法について、実際に日常場面で意識して用い、用い						

容	た感想を小レポートとして提出すること。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	カウンセリング技法②前回に引き続き、学校現場で用いることができる基本的なカウンセリング技法について、ロールプレイを行いながら紹介する。		
授業外学修内容	基本的なカウンセリング技法について、実際に日常場面で意識して用い、用いた感想を小レポートとして提出すること。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	発達障害について学校現場で出会う発達障害について、LD,ADHD,自閉の各障害について基本的な特徴と多様性、実践的対応を紹介する。		
授業外学修内容	図書館やインターネットを通じて、発達障害についてあらかじめ調べておくこと。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	特別な支援を必要とする子ども達特別支援の概念をおさえたうえで、特別支援が必要な様々な状況におかれる子どもたちについて概観し、その対応について考える。		
授業外学修内容	図書館やインターネットを通じて、特別支援という概念についてあらかじめ調べておくこと。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	知的障害とは?知的障害の定義と特徴について解説する。そのうえで事例を挙げながら知的障害者への特別支援の実践について考える。		
授業外学修内容	講師のお話を振り返り、障害の経験について論じたレポートを提出すること(締切は次回授業冒頭)。	時間数	
9週目			
授業学修内容	身体障害と教育相談身体障害の結果、車いすを使って生活されている方をゲスト講師にお招きし、身体障害の経験、日常生活と障害との関係などについてお話をいただく。授業に際しては、当日一日中、実際に学校生活の中で車いすを使うことを求める予定である。		
授業外学修内容	講師のお話を振り返り、1)障害の経験について2)車いす体験の教育的意義とその限界について考察し、レポートを提出すること(締切は次回授業冒頭)。	時間数	
10週目			
授業学修内容	子どもとの関わりの実際(学校での相談・家庭訪問)学校現場で教育相談をする際に必要な学校内や家庭訪問時の子どもとのかかわりについて、事例を挙げながら解説するとともにロールプレイを行って学習する。		
授業外学修内容	復習では図書館などで関連する文献に目を通し、多くの事例に触れるようにすること。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	保護者との関わりの実際(保護者対応)学校現場で教育相談をする際に必要な保護者対応について、事例を挙げながら解説するとともにロールプレイを行って学習する。		
授業外学修内容	復習では図書館などで関連する文献に目を通し、多くの事例に触れるようにすること。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	教員同士・校内の連携と専門職・他機関との連携学校現場で教育相談をする際に必要な教員同士の連携について、事例を挙げながら解説するとともにロールプレイを行って学習する。さらに専門職・他機関との連携について、事例を挙げながら解説する。		
授業外学修内容	復習では図書館などで関連する文献に目を通し、多くの事例に触れるようにすること。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	教員のメンタルヘルス(ピアサポート)近年、児童・生徒の教育相談の主体たる教員自身のメンタルヘルスについて、その低下が危惧されている。そこでこの回では、教員が陥りがちなメンタルヘルスについての問題を概観するとともに、メンタルヘルスケアの簡便な指標を実施したり、ピアサポートについてロールプレイを行う。		
授業外学修内容	教員のメンタルヘルスについて、メディアで報告されていることについて図書館やインターネットを通じて、その現状と対策についてあらかじめ調べておくこと。	時間数	1
14週目			
	発達障害(講演)発達障害に関係する方をゲスト講師にお招きし、その経験、日常生活と障害との関係な		

授業学修内容	どについてお話をいただく。		
授業外学修内容	講師のお話を振り返り、障害の経験について論じたレポートを提出すること（締切は次回授業冒頭）。	時間数	
15週目			
授業学修内容	まとめ学校における教師による教育相談とはなにか、全体の授業で学んだことについて、グループディスカッションを行って振り返り、グループごとに発表する。その上で、講師が講評とまとめを行う。最終レポートについても指示する。		
授業外学修内容	予習では、グループディスカッションに備え、この授業で学んだことをレジュメや関連資料を復習することで整理しておくこと。	時間数	3
上記の授業外学修時間の合計	16		
その他に必要な自習時間	74		

Number	PSY-2-016-j	Subject	Educational Counsultation(Elementary)		
Name	松本 学(Mataumoto Manabu)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	Educational consultation means giving proper assistance to children and infants, parents, and teachers regarding problems in education for children and infants. Now, schools are facing many serious problems such as breakdown of class discipline, bullying, and truancy. In this kind of situation, how the teacher approaches the child or parents is always important. In this course, we aim to cultivate the ability to properly understand and handle various problems which teachers can face in their everyday life at school. We also aim to learn practically, from intellectual exercise and actual experience, about the basic methods for counseling, knowledge of developmental psychology, and the framework of educational consultation.?				